

感染症対策に700万円ものお金をかけなければいけない今ではなく、来館制限をしなければいけない今ではなく、安心してもっともっとたくさんの人に来てもらえるようになってからでも遅くないのではないのでしょうか。

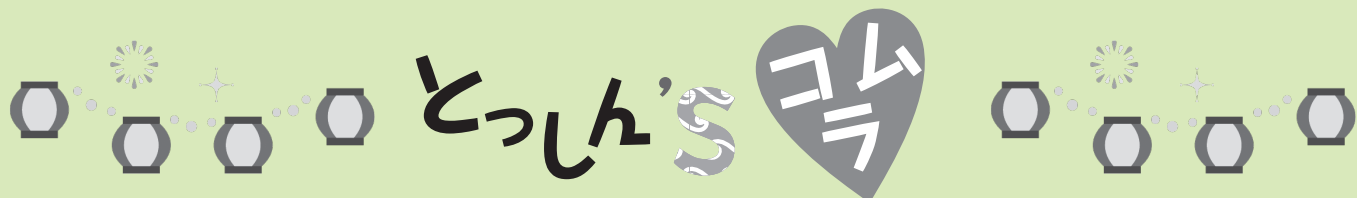
秋からは、空調工事も予定されています。この工事を前倒し、工事が終了した後にリニューアルもかねて、感染症予防の予算も必要なく来館制限もかける必要がなくなってから、全国からだれもに安心してきてもらい、地元も祝賀ムードの中で開催されることを望みます。

予算全体に反対ではありませんが、山鳥毛の特別展に関する予算にどうしても納得がいかないもので、反対しました。

令和2年第4回(6月)定例会 賛否の公表

○=賛成 ●=反対 欠=欠席 ー=議長職(議長は採決に加わりません)

議案名	議決年月日	採決結果	日本共産党 瀬戸内市議団		改革					公明党瀬戸内市議団		県議会		瀬戸内市民の会		創流クラブ		無党派		賛成	反対	
			厚東 晃央	島津 幸枝	廣田 均	小谷 和志	日下 敏久	石原 芳高	河本 裕志	高間 直美	角口 隼一	布野 浩子	小野田 光	原野 健一	平原 順二	竹原 幹	日下 俊子	岡 國太郎	室崎 陸海			
議案第50号 令和2年度瀬戸内市一般会計補正予算(第4号)	R2.6.24	原案可決	●	●	○	○	ー	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	6



コロナ渦で、当分マスクが欠かせない生活になりそうです。私は、週に何度か小学校まで一緒に歩いて行きますが、マスクをしたまま歩くと、死にそうになります。

教育委員会には、子どもといえどもマスクをしたまま歩くとかなりの負担になると思うので、子ども・保護者・地域の人々に、適切な指導と周知が必要ではないかということ伝えていきます。

そのような中で、簡単に安くできるフェースシールドを教えてくださいました。

用意するもの(すべて100均で揃いました)

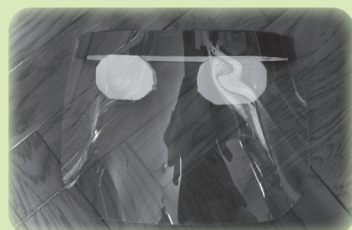
- ・A3カードケース(4枚取れます)
- ・カバンテープ(3ヶ分取れます)
- ・パンツのゴム(3ヶ分取れます)
- ・フロアーマット(20ヶ分取れます)

1ヶ分のフェースシールドが100円かからず作れます。

そして、マスクより断然付け心地が楽です。ぜひ、みなさんも、挑戦してみてください。



※接着はホッチキスと両面テープで!



本格的な夏がやって来ましたが、皆様にはお変わりございませんか。今年閉塞感に包まれた日々ですが、いかにコロナと共存していくかということが今後は求められているのではないのでしょうか。

恐れすぎず、侮らず、ウィズコロナで生活していくことが大切です。

辺りを見渡すと、田んぼがまるで緑のじゅうたんを敷き詰めたように、輝いています。私はこの景色が大好きです。こんなステキなところに暮らしていることを、本当に自慢に思います。

皆さまには本当にいつも、温かく見守っていただき、そして励ましていただき本当にありがとうございます。

皆さまに市政の場へと送り出していただき、7年が過ぎました。その間常に、皆様の声を市政に届けていきたい、その思いでいます。その思いは、今もこれからも変わることはありません。引き続き力強いご支援の程、よろしくお願い申し上げます。



田植えが終わった美しい田園風景(磯上)

今回の一般質問

- (1) コロナ渦における介護予防について
 - (2) コロナ渦における避難所の対策について
- を取り上げさせていただきました。

(1) コロナ渦における介護予防について

瀬戸内市の介護予防は、進んでいる、本当に素晴らしいと感謝しています。

はつらつ体操：101カ所

ふれあいサロン：65カ所、が開設されています。

ただ、今回3月4月5月と3か月の間、活動を自粛していました。

みなさんご存じのこととは思いますが、高齢者ほど毎日の単純な繰り返しがどんなに大切なことか!

たわいもない、なにげない人とのつながりや、コミュニケーションがどんなに大切なことか!

そして、一度止まってしまうと、元に戻るのにその何倍の時間が必要になるか!

市では、5/21に適切な感染予防対策を行ったうえで、再開を発表しました。

感染予防に気を付けたうえで、一日もはやく元の状態に戻れるような対策が、急務と考えます。

はつらつ体操閉鎖の間、地域包括支援センターからは、自宅でいきいきチェックシートということで、毎日運動・清潔・お口の清潔・交流をチェックして記入できるチェックシートを配って

いただいて、取り組みができました。本当に感謝しています。

くさかとしこの主張

瀬戸内市の介護予防は、何度も言いますが、とても進んでいる素晴らしいと思います。

ただ、この失った3か月をいかにして取り戻すかは、並大抵ではない気がします。

ここは総力戦で、市役所をあげ、地域包括センターをあげて、市がしっかりリーダーシップを発揮して取り組むべきだと思います。

令和2年7月20日発行
発行責任者 瀬戸内市議会議員

くさか としこ

〒701-4273
瀬戸内市長船町磯上 569
TEL/FAX 0869-26-6420
携帯 TEL 090-5702-8336
ホームページ



http://www.kusaka-toshiko.jp/

一般質問のつづき…

(2) コロナ渦における避難所の対策について

くさかとしこの主張：

今議会の行政報告には、『大雨・台風シーズンを迎え、感染症に対応した避難所の開設、市民の避難の在り方について見直しをする必要が生じてきています。』とあります。

避難所運営マニュアルが5/18にホームページにアップされました。

111ページの本編と21ページに及ぶ資料編と40ページに及ぶ様式集からなっています。

また、4月7日に内閣府の「避難所における新型コロナウイルス感染症への対応について」の留意事項が通知されたことを受け瀬戸内市でも、避難所運営マニュアルとともに、避難所における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策も発表されました。

令和2年6月頭の見直しでは、新型コロナウイルスを含む感染症対策を強化した内容となりました。6月末の見直しでは、新型コロナウイルス感染症が疑われる人が避難所に来た場合の対応についての記載が追加になりました。

国の避難所での新型コロナ対策としては、

- ・可能な限り多くの避難所の開設
- ・親戚や友人宅への避難の検討
- ・避難所の衛生環境の確保
- ・発熱者らの専用スペース

を求めています。

避難所に多くの人が集まりすぎないように、運用面での見直しが必要です。

具体的には、1世帯ごとの間隔を2メートル確保するのが目安で、これまでの3、4倍のスペースが必要になると見積もられています。

その中で、公共施設を再編して避難所を減らしている瀬戸内市は、国の方針と逆行していると考えられません。本当に市民を守る気があるのか心配になります。

一度、地域ごとに避難所の在り方をもう一度見直すべきだと思います。そして、状況が変わってきているのだから、従来の決定にとらわれず、避難所の見直しをする勇気をもっていただきたいと思います。

夏の災害シーズンを迎え、地域ごとに、避難を想定する人数とそれらの人が避難するであろう場所を想定すべきだと思います。

そして、地域ごとの避難所の一人当たりのスペースが本当にどれだけあるのかを、割り出す必要があると思います。

しっかり対応を求めています。

昭和51年の9月に台風17号の被害で、黄土色の泥海にどっぷり福里地区がつかった時の写真です。ちなみに磯上もどっぷりつかったそうです。



【くさかとしこ】が見た瀬戸内市の行政！

それでは、行政報告をさせていただきます。6月議会では、予算に反対しました。

6月議会山鳥毛特別展関連予算概要

No.	概要	詳細	財源	予算	備考
1	観光需要回復対策	動画・多言語HP・オンラインプロモーション	国コロナ交付金	1000万円	観光ホームページの新規開設及びプロモーションや動画コンテンツ等を制作する。
2	まちづくり物産館感染症対策	レイアウト変更 換気設備	国コロナ交付金	300万	必要ではあるが、今積極的に観光客を受け入れる状況にはないのではないか。
3	博物館感染症防止対策	カメラ体温計測システム	国コロナ交付金	220万円	体温を自動に計測し、マスクを感知し、ゲートをあけるような仕組みが必要な時にあえて開催する必要があるか。 1時間に40人で制限をかけて開催するのではなく、前回のよう日に1,300人きってもらえるようになって開催するほうがいいのか。
		時間別予約システム		180万円	
4	山鳥毛看板作成委託	パネル1枚6万円×3枚	一般財源	22万円	どうして寄付金を使わないのか
5	山鳥毛購入御礼委託	寄付者プレート	山鳥毛寄付金	320万円	特大・大・中・小のプレートに5千名掲示
		寄付者感謝状300人			寄付 返礼なし100万円以上 返礼あり200万円以上 企業版100万円以上の300人
		名誉館長委嘱状16人			寄付 返礼なし1千万円以上 返礼あり2千万円以上 企業版1千万円以上の16人
6	企画展駐車場警備委託	9/10～10/4(22日間) 駐車場4人 館内2人	一般財源	263万円	
7	山鳥毛公開案内業務委託	寄付者に特別展の案内・チラシ送付177円×15000人	山鳥毛寄付金	265万円	寄付者以外の人にもしっかり、PRする必要があるのではないか 入場制限があるような特別展ではなく、前倒しで改修して改修のお披露目と山鳥毛のお披露目を盛大に行えるよう、時期をずらすべきではないか そうして、国内外からたくさんの人を誘致できる時まで時期を少しずらしたらどうか 地元の人からしたら、他県・他国からたくさんの人に今はまだ来てもらいたくない時期です。 地元の人には不安に怯えています。 地元の人、たくさんの人に来てうれしいと思える時まで、少し時期をずらすべきではないか
8	自動車借上料	長船駅～博物館シャトルバス	一般財源	132万円	博物館で感染症対策をしても、ワゴンバスで3密で運んだのでは、本末転倒！ シャトルバスより、グループごとにタクシーで移動してもらいその費用を補助したほうが、今公共交通でタクシー業界の仕事を圧迫しているのだから、コロナでこまっているタクシー業界の救世主にもなれるのではないか

くさかとしこの主張：

今回の山鳥毛の特別展ですが、国宝が瀬戸内市のものとなり、お披露目をしたい気持ちは理解できますし、同じ思いもあります。

ただ、今じゃないでしょ!ということがどうしても頭からはなれません。この度の企画展は9/10から10/4までとなっています。確かに非常事態宣言が発令されるとか移動制限がかかれば中止することなのですが、現時点では、新型コロナの感染が決して収束したとはいえない状況であり、19日に全国で制限が緩和され第2波への不安が広がっています。

一方で今年度小中学校の体育祭・運動会も中止になりました。地域の祭りも、今年は何かあってからでは遅いからと自粛して中止にしています。

その中、長船町の刀剣博物館は、1万5千人もの人に案内を出して、大々的に招待するわけです。しかし、そのお祝いムードとは裏腹に、地元は不安に満ち溢れています。

『9月から10月は長船駅には近寄りたくない、長船町のコンビニには近寄りたくない、長船町の飲食店には近寄りたくない、挙句の果てには、9月から10月は散歩もできん』という声をたくさん聞いています。それが、地元の住民の声です。

しかし、そんな住民の声にはだれも耳を傾けてはくれません。高齢者や持病のある人などは、リスクがあるだけにより不安です。そんな弱い人や、地元の声に耳を傾ける行政であって欲しいと思います。しっかりとした感染症対策がなされるとは思いますが、完璧な感染症対策を講じたとしても、不安は残ります。

また、3密の中でも博物館には、窓もなく密閉が心配になります。博物館に完璧な感染症対策をしたとしても、長船駅やシャトルバスにも、不安が残ります。